

「放課後子ども教室だより」

No. 4

発行：県北教育事務所 2014. 7. 22

いわね遊友クラブ・福沢たのしい教室訪問

放課後子ども教室訪問

本宮市の放課後子ども教室では、体験活動を重視した年間プログラムを作成して取り組んでいます。川俣町の放課後子ども教室では、スタッフの特技やコーディネーターのアイデアを生かして子どもたちを楽しませるよう工夫しています。どちらも地域人材の協力が不可欠で、学校と家庭、地域が連携して放課後の子どもたちの安全・安心な居場所作りに取り組んでいるすばらしい事例です。

いわね遊友クラブ

本宮市（6月23日）



いわね遊友クラブは、岩根地区公民館の和室を利用して実施しています。訪問当日は、市の人権擁護委員による「人権紙芝居」を実施しました。委員4名が、紙芝居、DVD、ペープサートを披露し、人権についての話をしました。子どもたちは委員の話に真剣に耳を傾けていました。この活動は長年続けられている活動で、本宮市の他の子ども教室でも今後実施する予定です。他にも地域の団体等と連携した活動プログラムをたくさん予定しています。地域の子供たちは地域で育てるという熱い思いを感じました。

福沢たのしい教室

川俣町（6月27日）

福沢たのしい教室は、羽山の森美術館の一室を利用して実施しています。美術館は旧福沢小学校の施設を利用しているので、体育館や運動場を使って遊ぶことができます。訪問当日は、福沢地区の子供会全員に声をかけ、お店ごっこを行いました。子どもたちの手作りのものや地域の方々からいただいた野菜、かき氷、フライドポテト、ドーナッツなどが店に並び、模擬の紙幣を使って買い物を楽しみました。おいしいものをほおばる子どもたちの笑顔が印象的でした。普段子ども教室に参加していない子とのよい交流にもなりました。

